

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	被災地におけるシンボル形成に関する研究—復興シンボルの表現形式と機能に着目して—
Title(English)	
著者(和文)	佐藤年緒
Author(English)	Toshio Sato
出典(和文)	学位:博士(学術), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第11837号, 授与年月日:2022年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:坂野 達郎,猪原 健弘,齋藤 潮,中井 検裕,真田 純子
Citation(English)	Degree:Doctor (Academic), Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第11837号, Conferred date:2022/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

(論文博士)

論文概要 (和文) (300字程度)

(Dissertation Doctorate)

Dissertation Abstract (approx. 300 characters in Japanese)

ふりがな 申請者氏名 Name	サトウ トシオ 佐藤 年緒 1951 年 3 月 21 日 生
現職 Current occupation	科学ジャーナリスト (フリーランス)
最終学歴 Last educational institute attended	東京工業大学 工学部 社会工学科卒業 (1975年3月) 東京工業大学 大学院社会理工学研究科 価値システム専攻 単位取得退学 (2019年9月24日)
論文題目 Dissertation title	復興のシンボルの形成過程に関する研究
審査コース名 Applicable graduate major	社会理工学研究科 価値システム専攻
学位申請年月日 Date of submission of Application for Academic Degree Form	2021 年 9 月 22 日

論文概要 (Dissertation abstract)

地震、津波、豪雨などの被災地で、住民が復興に向かううえで希望や生きる励みにつなげる対象を見出す事例として「復興のシンボル」があげられる。本論はその意義と効果を明らかにするのが目的である。人間が事物に意味づけるシンボル（象徴）化の作用には、多様な表現形式があることを論理哲学者のランガーの論がある。本論では災害時に復興のシンボルとされた樹木と歴史的建造物に着目し、ランガー論の枠組みからシンボルの形成過程や形態、変容、機能を、東日本震災地、第二次世界大戦の戦災地、歴史的観光都市で調査した。その結果、被災後に希薄になった「個人の価値観」「自然や災害の科学的な理解」「人びとの交流や賑わい」の関係は、多様なシンボル形式によって再構築され、未来への方向（方向定位）を見出す役割を果たすことが確かめられた。結論は被災地の復興に生かされる。